

2018 年度事業報告書

2018 年 8 月 1 日から 2019 年 7 月 31 日まで

■ 第 13 期(2018 年度)のポイント

① 新規プロジェクト が次々とスタート！

例) さんだ楽語協会、日本語教室開設 PJ、
ユースワーク研究会など

自主事業に加えて、場つなメンバーが関わる新しいプロジェクトが、まちの中でたくさんスタートしています。当団体はその裏方支援を通して、継続的・効果的な活動となるよう支援しています。

② 対話の場づくり が次のステップに！

子ども×まちづくりフューチャーセッション
学生のまちづくり、キャリアコンサルティング

2016年度から取り組んできた「対話の場づくり」プロジェクトが、冊子「対話の場づくりのコツ」の完成をもって、次のステップへ。「話し合い」の奥深さと難しさ、そして一人ひとりの生きがいがいづくりにつながる対話を提示していきます。

③ 地縁系団体などからの 運営相談が 増えています！

神戸市北区の団体と縁あって関わりを多く持たせていただきました。旧村地域ならではの課題に対して地元ならではの強みを活かした支援に取り組んでいます。

また、私たちの取り組みに共感してくださる方や、各種プロジェクトに関わってくださるボランティアさんも、少しずつ、確実に増えてきました。一人ひとりの大切なメンバーと、「小さな事起こし」を多くこれからも取り組んでいきます！！

■ 特定非営利活動に係る事業の実施について

1. 市民活動や運営に関する相談事業 (収益 '17 : 897 千円、'18 : 1,798 千円)

市民活動に関する幅広い相談支援を実施。ひょうごボランティア基金の助成を受け、相談料は半額の1回1,000円(初回無料)で実施。相談依頼者は市内の市民活動団体だけでなく、行政・社協、そして地域団体からの相談が増えている。

1.1. 市民活動団体・法人設立支援

市民活動団体や NPO 法人設立を希望する団体を支援。主に、申請書類作成や運営組織体制づくり、事業報告書作成支援、労務・登記に関するアドバイスをした。

1.2. 団体運営・マネジメント支援・組織基盤整備・認定 NPO 取得支援

事業企画の立案や継続、運営体制のあり方についてのアドバイス、NPO 関連の制度や事例、助成金等の情報提供、広報の相談支援、人材のコーディネートを実施した。

(主な実績)

- NPO 法人さわやか北摂(川西市):新規法人設立および認定 NPO 取得支援
- 認定 NPO 法人まなびと(神戸市):マネジメント支援、とくに放課後児童クラブの運営支援
- 神戸市ふれあいのまちづくり協議会支援
～有馬地区、大原葛木地区
- 神戸市北区まちづくり活動支援助成金取得団体自立支援アドバイザー
～大沢地区「準町民制度」
- 長尾児童館(神戸市社会福祉協議会運営:神戸市) 運営相談
【認定 NPO 法人日本 NPO センター「どどこプロジェクト」を通してのアドバイザー派遣】

1.3. バックヤード支援

NPO の事務作業を一部代行して実施。特に会計についての依頼が多い。

(主な実績)

- NPO 法人三田市手をつなぐ育成会: 会計事務および請求事務支援
- NPO 法人歴史文化財ネットワークさんだ: 会計および事務全般の支援
- さんだ楽語協会: 事務全般の支援

2. 市民活動に資するネットワーク形成事業 （収益 '17 : 255 千円、'18 : 221 千円）

2.1. まちなか交流企画

(1) まちの読書会

奇数月1回、全6回開催。書籍に関連するテーマにおいて、自身の身の回りで起きていることとリンクさせながら、まちのこれからについて考えた。事務局だけでなく参加者から書籍・著者の提案をいただくことができたこともあり、より多様なジャンルが実施でき、結果として定期的な参加者に加え、新しい参加者を呼び込むことができた。

(実施状況)

回	実施日	書籍名(出版年)	著者	参加者数
③⑥	2018年9月8日	教養は児童書で学べ(2017)	出口治明	5人
③⑦	2018年11月10日	ブラックボランティア(2018)	本間 龍	5人
③⑧	2019年1月12日	現場者～300の顔をもつ男～(2018)	大杉 漣	5人
③⑨	2019年3月30日	予想通りに不合理～行動経済学が明かす、あなたがそれを選ぶわけ～(2013)	ダン・アリエリー	6人
④⑩	2019年6月1日	活断層地震はどこまで予測できるか～日本列島で今起きていること～(2016)	遠田 晋次	5人
④⑪	2019年7月27日	サイバー犯罪入門～国もマネーも乗っ取られる衝撃の現実～(2017)	足立照嘉	6人

2.2. 夏まつり(三田まつり)／冬まつり(あきんどまつり)での店頭販売

夏と冬の商店街でのイベントにて、夏はわたがしとかき氷、オムフランク、ゲームコーナーを、冬はわたがし、焼き芋を販売した。当日の運営は日常的な関係者に加え、まなびあに来ている子どもたち、この日のために“里帰り”して集まるメンバーもいて、賑やかに開催した。

2.3. シェアオフィス・コワーキング

ほんまち事務所を他団体とシェアし、その家賃収益を計上。三田市文化協会と三田市手をつなぐ育成会が入居している。

2.4. 子ども支援者連絡会議【新】

市内でさまざまな立場で子ども支援に携わっている人たちのネットワークづくりを目的に、情報交換・学習会を隔月開催。現在、登録が23名で、平均参加者数が15名となっている。

2.5. 三田まちの寺子屋「まなびあ」の運営

【公益財団法人キリン福祉財団助成事業】

地域の子どもを地域で支える仕組みづくりを目指し、主に生活困窮家庭・ひとり親家庭のこどもや不登校児者の学校外教育の提供を目的に、地域住民と協働で 2013 年 8 月に立ち上げ。共働き家庭をはじめとしたすべての子どもの、放課後の居場所としてもテーマを拡大し、運営している。友達が友達を連れて参加するなど、参加人数が増えている。また、2017 年 4 月からは三田地区民生委員・婦人会と協働し、子ども・地域食堂「まかないキッチン」にも取り組んでいる。



(スタッフ)

子どもたちの学習支援を担う「まなびサポーター」には、中嶋和哉さんをはじめ三田在住の 20-40 代メンバーに加え、一般市民、ボランティアサークル「SSV 関西学院」のメンバーとともに運営している。月 1 回程度の定例会を開催し、情報共有や対応を議論した。

(広報)

運営委員の大東真弓さん(三田小学校区学校支援ボランティアコーディネーター)の協力のもと、市内小学校等にチラシを配布して PR した。また、関心を持つスクールカウンセラーや、三田市社会福祉協議会「経済的困窮家庭対象の心配事相談」事業(三田市権利擁護・成年後見支援センター)と連携し、必要な家庭への情報提供や子どもの紹介が行われるよう関係づくりができた。また、日頃の様子は Facebook でも発信している。(右の QR コードからページ参照)



(費用)

独立行政法人福祉医療機構の 2013 年度助成金を活用して立ち上げ。2015 年 4 月～2018 年 3 月は公益財団法人ベネッセこども基金の、2019 年 4 月からは公益財団法人キリン福祉財団の助成を受け、ボランティアによる運営を展開。他には、gooddo 社によるクリック募金(2018 年 1 月終了)に加え、地域からの資金(寄付金、協賛金等)を集めて運営している。

	開設時～	2014 年 4 月～	2014 年 7 月～現在
実施日	水曜 15:30～18:30 土曜 13:30～16:30	水曜 15:30～18:30 金曜 //	
場 所	三田ほんまち交流館「縁」		三田小学校区県民交流広場 「じばやんクラブ」
利用者数	小学生～高卒生 平均 4 人	小学生～高卒生 平均 3 人	小学生～高卒生 平均 10 人

3. 市民活動に資する人材育成事業 (収益 '17 : 303 千円、'18 : 397 千円)

3.1. 自主セミナー開催

(1) 「三田の子どもの「今」を知ろう～三田の子ども実態調査報告書を読み解く」

【三田市人権を考える会 人権啓発「企画講座」サポート事業助成事業】

平成29年に三田市が行った「子育て世代の経済状況と生活実態に関する調査」をアクティブ・ブック・ダイアログ方式で輪読して、三田の子どもたちはどのような課題を抱えながら過ごしているのか、を整理した。また、ゲストからの解説を交えて、子どもとまちのこれからについて参加者同士でディスカッションした。

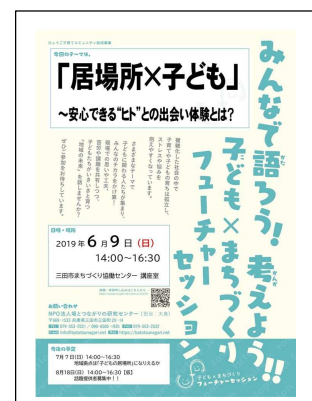


テーマ	三田の子どもの「今」を知ろう ～三田の子ども実態調査報告書を読み解く	
実施日	2018年12月23日 13:30～16:30	
会場	三田市まちづくり協働センター 講座室	
参加数	34 人	
ゲスト	村井琢哉さん(NPO 法人山科醍醐こどものひろば 理事長)	
会場の様子		

(2) 子ども×まちづくりフューチャーセッション」

【ひょうご子育てコミュニティ助成事業】

地域活動をしている人・これから始めようと考えている人を対象に、子どもに関するテーマでの対話の場を行い、課題を共有し、仲間づくりを行うとともに、活動との出会いを作り出すことを目的に開催。



テーマ	「居場所×子ども」 ～安心して暮らす“ヒト”との出会い体験とは？	地域拠点は「子どもの居場所」になりえるか
実施日	2019年6月9日(日) 14:00～16:30	2019年7月7日(日) 1400～1630
会場	まちづくり協働センター 講座室	まちづくり協働センター 講座室
参加数	5 人	6 人

(3) NPO スキルアップセミナー 【ひょうごボランティア基金助成事業】

NPO 法人を対象に、組織運営に必要な情報やスキルを提供することを目的に開催した。

テーマ	メンバーの快適活動を支えよう！ 有償ボラ vs. 雇用 ～非営利団体特有の「労務」ははじめの一步～	伝わる事業報告書のつくり方～応援してくださる支援者や会員に情報を届けるコツ
実施日	2018 年 11 月 29 日(木)17:00～18:30	2019 年 5 月 14 日(火)14:00-15:30
会場	まちづくり協働センター多目的ホール2	まちづくり協働センター 講座室
参加数	10 法人・団体／14人	7法人・団体／10人
会場の様子	 	 

(4)「まなびサタデースクール」開催

三田まちの寺子屋「まなびあ」から派生した事業で、子どもたちのさまざまな「まなび」を促すための企画を実施した。当団体の人材ネットワークや経験値を活用して、ボランティアサークル「SSV 関西学院」のメンバーが主に企画立案を担った。

① 学生と協働企画の実施

企画名	開拓王
目的	ボードゲームを通して、自分のやりたいことを実現するために何が必要か、自分の力だけではできないときにどのように他者の援助を受けるか（受援力）を考え、コミュニケーション力や論理的思考力の育成することを目的に開催。
実施内容	ボードゲーム「カタン」
実施日	2018 年 11 月 11 日(日)10:00～16:00
実施場所	さんだじばやん倶楽部
参加者数	5 人
企画スタッフ	大園健太（関西学院大学理工学部2年生）



②はじめてのプログラミング

子どもたちのプログラミング的思考力(仮説検証型思考法)の向上を目的として定期的開催。子どもの成長を願うメンター(ボランティア)からのさまざまなアドバイスもあり、より興味深い作品を子どもたちは作っている。リピーター率も高く、継続して実施していきたい。

※参加者の作品アトリエ:<https://scratch.mit.edu/studios/1741552/>



実施日	参加人数
2018年8月18日	6人
2018年9月1日	6人
2018年9月29日	5人
2018年12月1日	6人
2019年1月19日	6人
2019年3月9日	7人
2019年5月11日	6人
2019年7月6日	9人

3.2. 委託セミナー開催

企画名	おるすばんごはん in コープ
目的	フードドライブ・賞味期限前廃棄商品を活用した料理実習を通して、その場にある食材を使ってなんとか自力で食事が作れるという成功体験をつくるとともに、食品ロスや環境問題についての理解を深めることを目的に開催。
実施内容	料理企画
実施日	2018年8月21日(火)10:30~14:00
実施場所	コープ三田西店 組合員活動室
参加者数	16人
依頼者	コープこうべ「COOP 三田西店」



3.3. 講師派遣

実施日	内容	主催者
2018 年 8 月 10 日	低所得世帯の進学支援を考えるフォーラム 子どもの進学支援のために私たちができること ～三田の、あるひとつの事例から～	兵庫県社会福祉協議会
2018年9月17日 2018 年10月 28 日	在住外国人のための防災意識向上およびコミュニティ形成 のための事業『防災バスツアー』&振り返り	三田市国際交流協会
2018 年 10 月 30 日	まちづくりを担う人、支える人、つなぐ人 ～NPO の多様な広がりと「つながり」がもたらす可能性	甲南大学・帯谷研究室
2018 年 11 月 23 日	地域の人たちが、「自分ごと」として まちを支えていくまちづくりを目指して。	三田青年会議所
2019 年 1 月20日、 2月3日	考えよう！地域でも子どもの「いばしょ」 子どもが“いきいき”とする いばしょのレシピ(全2回)	三田市健やか育成課
2019 年 2 月 23 日	“NPO”の意味を問い直そう	ふくろう高平
2019 年 3 月 13 日	子どもが“いきいき”とするための 「居場所」と「学習支援」とは？	三田を知る会
2019 年 3 月 26 日	関西の NPO・中間支援事情	静岡フューチャーセンター サポートネット ESUNE
2019 年 7 月 20 日	ふらっとチャレンジ ボランティアオリエンテーション知ろ う！ 考えよう!! ～子どもとの関わりがうまくいくコツ	三田市社会福祉協議会
2019 年 4 月～7 月 (全 11 回)	プレミア宝塚シニアカレッジ セカンドチャレンジコース 【2年1学期】	宝塚市社会福祉協議会

また、三田市立八景中学校より、学力重点支援生徒を対象とした「がんばりタイム」への数学指導員派遣の要請を受け、2016 年 7 月から年間 40～50 回程度、指導員を派遣している。

4. 市民活動に関する情報発信事業（収益 '17：0 千円、'18：0 千円）

4.1. メールニュース発行

主に毎月 1～2 回メールニュースを配信。主催事業の案内に加え、助成金情報、地域イベント情報を無料で掲載している。現在 187 人に直接送付(前期末比 8 人増)、同内容をホームページや facebook サイトに掲載している。地域イベント情報は、当団体のボランティアである新納晃重さんが、毎回文字入力してくださっている。

5. まちづくりに資する地域情報化事業（収益 '17：0 千円、'18：0 千円）

今期は実施なし

6. まちづくりに資するコーディネーション事業（収益 '17：千円、'18:458 千円）

6.1. 地域の未来を対話する場「フューチャーセッション」促進事業

【県政 150 周年 中間支援事業助成】

複雑多様化した社会課題に対し、「自分ごと」としてとらえる多様な人たちがフラットに参加し、集まった知恵やノウハウからアクションを生み出す対話の場「フューチャーセッション」について、先駆的な取り組みを実践および支援している「静岡フューチャーセンターサポートネット・ESUNE」をお招きし、対話がまちづくりにどのような効果をもたらすのか、を考える学習会を開催。学生がまちの課題と関わり、解決案をともに模索していくプロセスについて学び、「ほんまちラボ」としての今後の取り組みについて大きな示唆を得た。



テーマ その「話し合い」、うまくいってる？ ～参加者の行動が変わる、「対話の場づくり」のコツ～	
実施日	2019 年 2 月 16 日(土)13:30～16:30
会場	神戸市まちづくり会館
ゲスト	天野浩史氏（NPO 法人静岡フューチャーセンター・サポートネット ESUNE 代表理事）
参加数	18人

（当日の様子）



6.2. 大学生のまちづくり参加促進事業

関西学院大学総合政策学部「都市政策演習 2」の演習に協力。16 人の学生に対し、「対話のまちづくり」をテーマにした演習を展開。「みんなでまちの未来を話そう、考えよう」と題した企画を実施した。

テーマ	三田フォトグラム ～あなたの“いいね”は何ですか？～	さんだみらい ～次世代に繋ぐコミュニティを考えよう～
実施日	2019 年 1 月 5 日(土)13:00～15:00	2019 年 1 月 5 日(土)16:00～18:00
参加数	13 人	17 人

(当日の様子)



6.3. 在住外国人のための日本語教室運営およびボランティア養成講座開催事業

神戸市北区北神地域における在住外国人のための日本語教室開設を目標に、取り組み始めた。2019年北区まちづくり活動支援助成および兵庫県国際交流協会補助金を得て、10月からボランティア養成講座を開催、12月からの教室開設・運営を目指している。【コーディネーター： 本田】

7. 市民活動及びまちづくりに関する調査研究事業（収益'17：25 千円、'18：1000 千円）

7.1. 研究受託

今期は実施なし

7.2. 市民調査支援

7.3. 「対話の場づくりのコツ」ハンドブック作成【兵庫県政 150 周年補助事業】

2016 年度から取り組んできた「対話の場づくり～フューチャーセッション運営」に関するノウハウをまとめ、兵庫県政 150 周年補助事業助成金を得て冊子化した。話し合いをする上での考えるポイントから具体的な記載フォーマットまで準備しており、これらは当団体ホームページから無料でダウンロードできるようにしている(冊子で希望される場合は印刷代として 300 円)。

<https://batotsunagari.net/taiwanobadukuri-hb/>



7.4. まちなか「資源循環」促進支援事業 ～とくに、遺贈資源仲介研究

相続財産を社会貢献に使いたいと考えている人向けに、専門家や活動団体を適切につなぎ方に関する研究・情報発信を行った。実際に、遺贈寄付の一部を当団体に寄付いただいた案件が1件あった。主に、北摂遺言相続研究会(土業の任意団体)や認定 NPO 法人保育ネットワークミルクとの連携を想定したが、具体的なプロジェクト化には至っていない。

7.5. ユースワーク研究会【ひょうごボランタリー基金助成事業】

市民レベルでの若者支援者の育成、および、一般市民に対する若者の課題についての問題意識を啓発することを目的に、地域住民と学生、NPO、学校、公的機関とが連携して地域の子ども・若者を地域の大人が支えるための「地域連携型若者支援プログラム」の開発を目標に研究会を開催した。【コーディネーター】小倉祐輔さん・NPO 法人スマイルひろば(尼崎市)

①若者支援プログラムの先進事例視察(3/12)

プログラム開発にあたり、先駆的な取り組みを行っている「静岡方式」についてヒアリングした。

【訪問先】米山世紀さん(NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡 理事)

②若者支援プログラム開発のための研究会

兵庫県内で若者支援の取り組みを行っているメンバーと協働で研究会を開催した。(全5回)

【メンバー】狩野和代さん(元三田市社会福祉協議会 CW) 埜下昌宏さん(大型総合児童館プレミア宝塚)

松木 亮さん(豊中 BBS 代表)

矢野良晃さん(NPO 法人ふぉーらいふ)

小倉祐輔さん(NPO 法人スマイルひろば)

内田扶喜子さん(尼崎市役所 CSW)

■ 管理および法人運営部門

1. 会員の状況 (収益 '17 : 54 千円、'18 : 60 千円)

正会員は、期初時点で 17 名であったが、増減なく 17 名・団体となっている。賛助会員は、3 名であった。会員の拡大を今期も取り組みたい。

2. 寄附の状況 (収益 '17 : 551 千円、'18 : 1,647 千円)

今期も収益の約 15%を占めるなど法人運営の土台となりつつある。今後の活動に充ててほしいと活動謝金をそのまま寄付してくださった方も多くいらっしゃった。支援の広がりをいっそう求めている。

3. 会議に関する事項

総会および理事会を下記の通り実施。理事会ではメーリングリストで情報共有・意見交換を適宜行っている。

	日 時	会 場	備 考
総 会	2018 年 9 月 22 日	三田ほんまち交流館「縁」	通常総会
理 事 会	2018 年 9 月 4 日	ほんまち事務所	
	2019 年 4 月 6 日	ほんまち事務所	

4. 他団体との連携・協力

以下の組織・ネットワークに所属し、適宜情報交換や事業連携を行っている。

- 車瀬橋商店街
- 三田本町通商店街(準会員)
- 三田市商工会
- ひょうご子育てコミュニティ
- ひょうご市民活動協議会
- 阪神北中間支援ネットワーク
- 三田地区県民交流広場「じばやん倶楽部」運営委員
- 三田小学校コミュニティスクール運営協議会 運営委員
- 三田市社会福祉協議会 評議委員
- 大阪ボランティア協会 情報誌「Volo」編集委員
- コープともしびボランティア振興財団 運営委員
- 三田市／三田市市社協 地域福祉計画委員会 委員
- 三田市子ども子育て計画審議会【新】
- 神戸市認定 NPO 取得支援アドバイザー
- 神戸市 NPO 活動支援アドバイザー

■ これまでの業績推移

	収益	経常収支差額	主な事業等
2006 年度	6,192,761	△960,814	市民活動推進プラザ運営
2007 年度	9,339,984	137,083	地域 SNS「さんでい」立ち上げ
2008 年度	17,329,561	△347,523	総務省「地方の元気再生事業」
2009 年度	17,053,023	66,850	
2010 年度	49,197,634	△2,257,061	総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」。他、3つの緊急雇用事業
2011 年度	20,208,730	△961,253	市民活動推進プラザ、受託終了。ほんまち移転
2012 年度	5,412,920	△1,222,338	ひょうごコミュニティ財団設立支援
2013 年度	4,823,671	407,254	居場所研究会、まなびあ設立
2014 年度	3,470,315	630,174	中堅スタッフ育成、ハ・ネット助成金、まなびサテライトスクール
2015 年度	4,228,054	717,566	気づきの事例検討会、
2016 年度	4,180,558	116,841	対話の場づくり・フューチャーセッション、がんばりタイム
2017 年度	4,134,888	313,566	学習支援ハンドブック、遺贈資源仲介、都市政策演習
2018 年度	5,087,612	1,246,810	対話の場づくりハンドブック・ユースワーク研究会

以上